

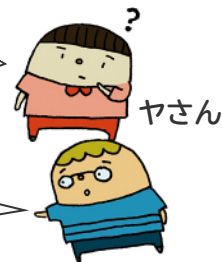
ヤさんと一緒に働き始めて数ヵ月、ドウリョウ先輩はヤさんとのコミュニケーションを重ね、少しずつヤさんにわかりやすい話し方や指示の仕方がわかってきました。ある日、ドウリョウ先輩とヤさんは、一緒に取引先の会社を訪問しました。



この度は、わざわざご足労いただきありがとうございます。

(小声で) ドウさん、わたしたちは、この会社にゴソクロ
あげましたか？ どの商品ですか。

「ごそくろう」と言うのは、「来てくれて ありがとうご
ざいます」という 意味ですよ。



ドウリョウ先輩

～会議終盤～



3

本日は貴重な時間を賜り、誠にありがとうございました。今後とも
変わらぬご指導、ご鞭撻^{べんたつ}を承りますようお願い申し上げます。
それでは、引き続きよろしくお願い申し上げます。

????



さすがドウリョウ先輩、取引先の人が言ったことをヤさんにわかりやすく言い直してくれています。それでも、最後のあいさつが極めつけでしたね。

Step① ③の会話、やさしい日本語にしたら、どんな言い換えがえができてそうですか？

Step② あなたが取引先の人だったら、この他にどんなやさしさをプラスしますか？

Step③ やさしさを広げるために、職場でどんなことができそうですか？



尊敬語・謙譲語は、適切に使うのが難しいだけでなく、理解が難しい場合もあります。例えば、「召し上がる」と「いただく」は、どちらも「食べる」という意味がありますが、誰が食べるかは異なり、慣れていなければとっさに主語が理解できないことがあります。尊敬語・謙譲語に限らず、日本語の話し言葉には省略が多く、わかりにくさにつながってしまう場合があります。

また、よく「また食事に行きましょう」など、実際に行くかどうかわからない誘いを挨拶のように使うことが"あるある"ですが、このような誘いを正式な誘いだと思ってしまうこともあります。社交辞令のつもりが、「いつ行きますか？」と返ってきてしまい、最初そのつもりはなかったけど本当に行くことになって相手との距離が縮まった、なんて例も！